

“ところ会”：第1回の座学に参加して

居田（記）

去る、8月20日新所沢公民館にて“ところ会”の発足後の初めての座学を市民大学の講師を勤め、当会の顧問をしていただいている門内顧問に講師をお願いして、暑い日が続く中、当会のメンバーほぼ全員の出席で実施しました。

講座のメインテーマは「所沢の中世」、サブテーマは「大石氏に関連する歴史的背景」で中世の室町時代を中心に講義が始まりました。門内顧問の作成された資料を基に、主に室町幕府の中央の政治機構と地方の鎌倉府について、特に中世の関東における時代背景とこの時代に登場する歴史上名前を残した歴史上の著名人とその著名人が出た家系及びその家系に属する人々についての説明があり。所沢の中世に入口から第一歩を踏み始めました。

門内顧問も、当座学は1回の講座で終了するのではなく、講座をさらに進めて、全般に渡る時代背景からさらに武蔵国、的を絞って所沢に縁の深い「大石氏」について、シリーズとして捕らえていくことを考えているとの話がありました。当会も門内顧問の話を踏まえシリーズとして一連の座学を実施する方向で取り組みたいと思っています。

講座の休憩時間内で門内顧問との雑談する機会があり、門内顧問の勤務されている大田区郷土博物館に、当会のメンバーが押しかけていき、博物館の一室をお借りして、大田区の歴史関連をテーマに講座を依頼することも考えてみたいと思います。その講義終了後、博物館周辺及び範囲を広げて大田区の近辺の史跡めぐりの計画も出来るのではないかとともに思います。

さらに講義の終了後に門内顧問からの話で所沢の中世に登場する大石氏と上杉氏関連のある「八王子城・滝山城」、さらに当会で予定している11月のバスでの史跡めぐり「鉢形城」についても関連があるとの事で話が大いに盛り上がりました。

座学の終了後、残念ながら門内顧問は所用で、懇親会は欠席されましたが、懇親会の開催場所である「木曾路」の送迎バスで、公民館から「木曾路」まで、出席者全員で移動しました。開催の挨拶、乾杯で会が始まり、まだお互いに良く分からない状態なので、幹事さんが準備した質問メモに返答しながらの自己紹介を行いました。飲み放題コースの2時間30分の懇親会を多いに楽しんで第1回の“ところ会”の座学「所沢の中世」の勉強会？は無事終了しました。

